
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第12週
(3月17日～3月23日)

* 2008年3月26日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成20(2008)年3月27日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年12週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		9週	10週	11週	12週	年累計	12週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							1
	結核	78	71	50	46	792	228	4864
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三 類	コレラ						1	5
	細菌性赤痢		2	2	2	16	5	71
	腸管出血性大腸菌感染症		2		2	10	24	220
	腸チフス					3	1	11
	パラチフス					1		6
四 類	E型肝炎					2		10
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	1			9	1	45
	エキノкокクス症							4
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱						1	1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					4		38
	デング熱					3	1	12
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1				4	1	7
野兔病							2	
ライム病							1	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		2		1	15	5	171	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		9週	10週	11週	12週		12週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	3		2	35	5	173
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1		1		7	2	44
	急性脳炎 **					5	3	56
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			1	1	28
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				6	1	26
	後天性免疫不全症候群	20	11	7	16	126	11	295
	ジアルジア症	1		1		4	2	17
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	5
	先天性風しん症候群							
	梅毒	6	3	4	7	38	7	158
	破傷風					2		14
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症					2	1	11	
風しん	1	2		1	11	5	100	
麻しん	95	69	65	53	553	331	4648	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/3/26集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 46件 肺結核32件、その他14件で、推定感染地は国内45件、韓国1件であった。年齢は5歳未満3件、20歳代5件、30歳代2件、40歳代10件、50歳代10件、60歳代4件、70歳代5件、80歳代7件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 ソンネ2件で、推定感染地はカンボジア1件、マリ1件、推定感染経路はいずれも飲食物による経口感染であった。マリの1件は11週報告例の同行者で、関係者検便により発見された。

腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者1件、無症状病原体保有者1件で、血清型・毒素型はO157(VT1VT2)1件、O157毒素型不明1件、年齢は5歳未満1件、30歳代1件であった。

〈四類感染症〉

レジオネラ症 1件 肺炎型で、患者は80歳代女性。推定感染地は国内で、感染経路は不明。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 腸管アメーバ症2件で、推定感染地はいずれも国内、推定感染経路はいずれも性的接触(同性間1件、異性間1件)であった。

後天性免疫不全症候群 16件 無症候キャリア11件、AIDS 3件、その他2件で、推定感染地は国内14件、不明2件であった。推定感染経路は性的接触14件(同性間12件、異性間1件、性別不明1件)、不明2件であった。

梅毒 7件 早期顕症梅毒Ⅱ期3件、無症候梅毒4件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間3件、異性間4件)であった。

風しん 1件 臨床診断例の20歳代女性、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

麻しん 53件 麻しん(検査診断例)16件、麻しん(臨床診断例)27件、修飾麻しん(検査診断例)10件で、年齢は10歳未満8件(うち5歳未満6件)、10歳代10件、20歳代23件、30歳代8件、40歳代4件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し20件、1回11件、不明22件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年12週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		9週	10週	11週	12週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	11	13	3	9	0.06	149	150
	咽頭結膜熱	27	26	32	34	0.23		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	409	387	382	313	2.10		
	感染性胃腸炎	2,028	2,337	2,380	1,791	12.02		
	水痘	190	179	185	179	1.20		
	手足口病	4	3	7	4	0.03		
	伝染性紅斑	19	19	18	17	0.11		
	突発性発しん	92	81	91	66	0.44		
	百日咳	4	3	2	0	0.00		
	ヘルパンギーナ	2	1	0	3	0.02		
	流行性耳下腺炎	37	59	47	50	0.34		
	不明発しん症(注1)	6	9	8	6	0.04		
MCLS(川崎病)(注1)	2	2	2	4	0.03			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	1,027	849	750	394	1.37	287	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	4	0	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	16	21	12	10	0.26		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	1	0	1	0.04	24	24
	無菌性髄膜炎	0	0	3	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	2	5	4	9	0.38		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/3/26集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、第6週以降は過去5年平均および2007年の同時期と比較して高いレベルで推移している。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年平均の同時期よりも依然として高いレベルにあり、今後の推移に引き続き注意が必要である。
- ・MCLS(川崎病)の定点当たり報告数は増加し、過去5年平均の同時期と比較して多くなっている。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、7週連続して減少した。
- ・無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は第11週にいったん増加したが、第12週は減少し、2007年同時期と同じレベルになっている。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年平均の同時期と比較して多くなっている。今後の推移に注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:患者55名のうち、ロタウイルスが確認された者9名。

北区保健所管内定点医療機関

- ・ノロウイルスやロタウイルスによる感染性胃腸炎と思われる症例が多くみられる。

*インフルエンザに関するコメントは13~14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	4			15	2			2		
～11か月	3	1		95	8	1		36		
1歳		7	2	289	24		5	25		1
2歳		5	13	177	35	2	1	2		1
3歳		5	25	180	17		1			
4歳		7	53	160	29		2			
5歳		2	57	145	19					
6歳		2	45	110	20		1	1		
7歳			27	104	10		1			
8歳	1	1	16	90	3		3			
9歳		3	25	68	3	1	2			1
10～14歳			18	129	6		1			
15～19歳			2	17	1					
20～29歳	1	1	30	212	2					
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	9	34	313	1791	179	4	17	66		3
先週比	6	2	-69	-589	-6	-3	-1	-25	-2	3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月						
～11か月	1			1		
1歳	1	4	2	13	1	
2歳	1	1	1	18		
3歳	4		1	19		
4歳	15			30		
5歳	12	1		36		
6歳	6			31		
7歳	2			32		
8歳	2			20		
9歳	5			30		
10～14歳	1			42		2
15～19歳				14		
20～29歳				22		3
30～39歳				47		2
40～49歳				14		1
50～59歳				9		1
60～69歳				9		
70～79歳				6		1
80歳以上				1		
合計	50	6	4	394	1	10
先週比	3	-2	2	-351	1	-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年12週

	風しん	麻しん
0歳		4
1歳		2
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		1
6歳		1
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		3
15～19歳		7
20～29歳	1	23
30～39歳		8
40～49歳		4
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	53

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				10				1		
中央区				25	2					
みなと	1	2	22	89	6					
新宿区			4	43	6	1				
文京			2	26	3					
台東			7	42	7		1			
墨田区			9	22	4			2		
江東区			16	145	10			1		
品川区			4	87	5			7		
目黒区			3	25				1		
大田区	1	16	11	127	9		5	3		2
世田谷		1	15	111	5			3		
渋谷区		1	4	46	1			1		
中野区			12	76	15					
杉並		4	5	87	5			3		
池袋			3	19	3					
北区		1		48			1	4		
荒川区			7	32	2	1	1	2		
板橋区			2	29	1			3		
練馬区			6	24	9		1	2		
足立			9	44	11	1		2		
葛飾区			2	55	4		1	2		
江戸川	2	2	21	69	4			3		
八王子市		2	34	96	14		3	6		
西多摩			12	57	2			3		
南多摩	3		15	58	7		2	4		
町田			65	112	10		2	6		
多摩立川			7	16	3					
多摩府中	1		1	62	11	1		5		1
多摩小平	1	5	14	106	19			1		
島しょ			1	3	1			1		
東京都合計	9	34	313	1,791	179	4	17	66	-	3

全数把握対象疾患
(風しん、麻疹)報告数

【保健所別】2008年12週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	1		1	3		
みなと	1			4		
新宿区	1	1		7		1
文京	1			3		2
台東				3		
墨田区		2		9		
江東区	2			13		
品川区	1	1		13		
目黒区	1			7		
大田区	1	1		22		
世田谷	1			24		
渋谷区	1			5		
中野区	2			17		
杉並				7		
池袋	1			11		
北区	1			4		
荒川区	10			16		
板橋区				3		1
練馬区	5			38		
足立	8			9	1	3
葛飾区	1	1		12		
江戸川	4		1	32		
八王子市	2		1	7		
西多摩	1			17		
南多摩	2			17		
町田	1		1	28		
多摩立川				8		
多摩府中	1			35		1
多摩小平				19		2
島しょ				1		

東京都合計	50	6	4	394	1	10
-------	----	---	---	-----	---	----

	風しん	麻疹
千代田		
中央区		2
みなと		1
新宿区		1
文京		2
台東		
墨田区		
江東区		4
品川区		5
目黒区		
大田区		6
世田谷		3
渋谷区		1
中野区		2
杉並		1
池袋		2
北区		3
荒川区		
板橋区		2
練馬区		1
足立		
葛飾区		1
江戸川		1
八王子市		1
西多摩		2
南多摩		3
町田	1	2
多摩立川		1
多摩府中		5
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計	1	53
-------	---	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				3.33				0.33		
中央区				8.33	0.67					
みなと	0.17	0.33	3.67	14.83	1.00					
新宿区			0.67	7.17	1.00	0.17				
文京			0.67	8.67	1.00					
台東			2.33	14.00	2.33		0.33			
墨田区			3.00	7.33	1.33			0.67		
江東区			4.00	36.25	2.50			0.25		
品川区			0.67	14.50	0.83			1.17		
目黒区			1.00	8.33				0.33		
大田区	0.11	1.78	1.22	14.11	1.00		0.56	0.33		0.22
世田谷		0.13	1.88	13.88	0.63			0.38		
渋谷区		0.25	1.00	11.50	0.25			0.25		
中野区			2.00	12.67	2.50					
杉並		0.67	0.83	14.50	0.83			0.50		
池袋			0.60	3.80	0.60					
北区		0.25		12.00			0.25	1.00		
荒川区			3.50	16.00	1.00	0.50	0.50	1.00		
板橋区			0.33	4.83	0.17			0.50		
練馬区			1.20	4.80	1.80		0.20	0.40		
足立			1.80	8.80	2.20	0.20		0.40		
葛飾区			0.50	13.75	1.00		0.25	0.50		
江戸川	0.40	0.40	4.20	13.80	0.80			0.60		
八王子市		0.50	8.50	24.00	3.50		0.75	1.50		
西多摩			2.40	11.40	0.40			0.60		
南多摩	0.75		3.75	14.50	1.75		0.50	1.00		
町田			16.25	28.00	2.50		0.50	1.50		
多摩立川			1.17	2.67	0.50					
多摩府中	0.10		0.10	6.20	1.10	0.10		0.50		0.10
多摩小平	0.17	0.83	2.33	17.67	3.17			0.17		
島しょ			1.00	3.00	1.00			1.00		

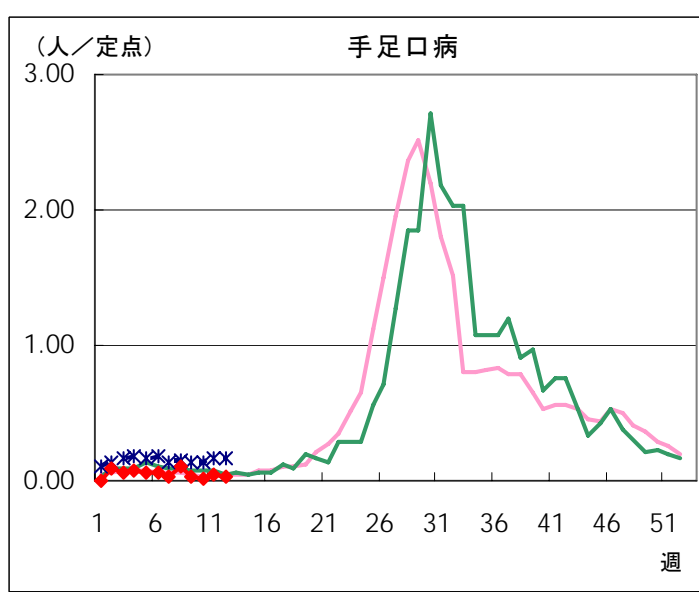
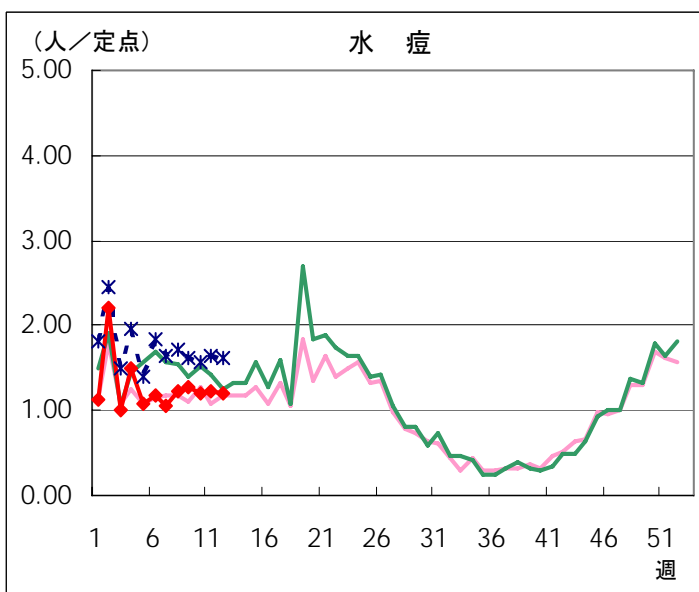
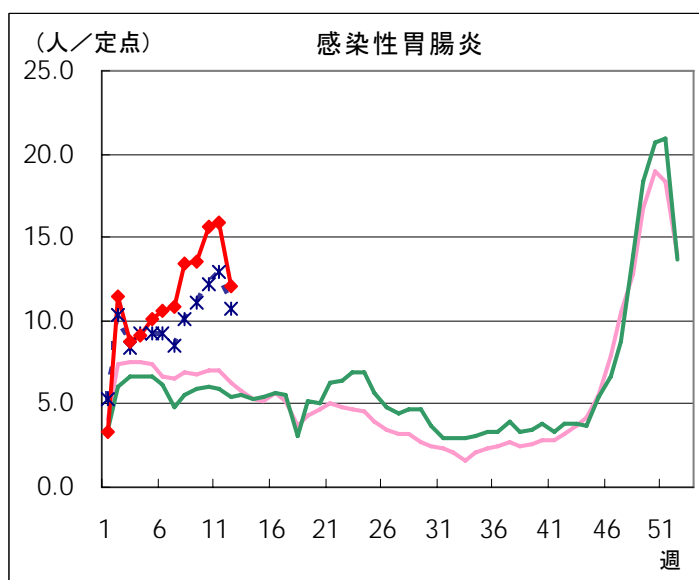
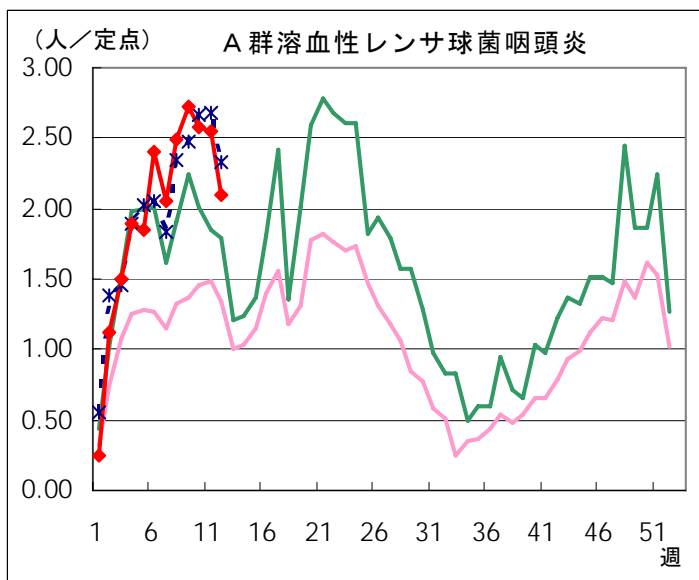
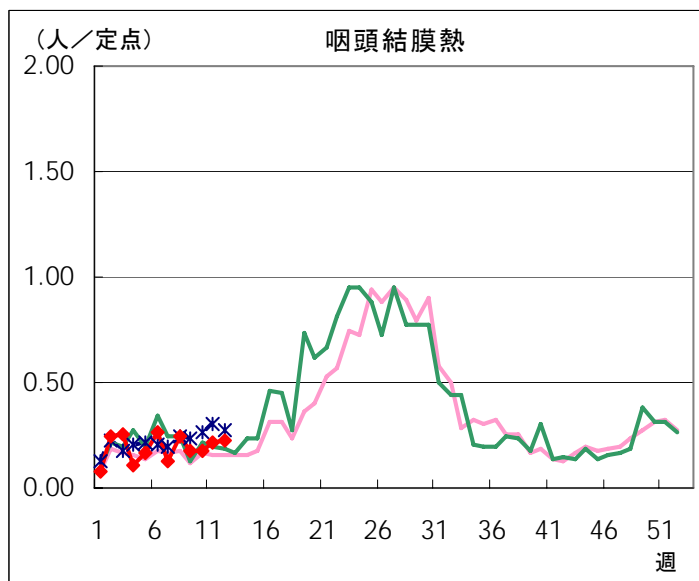
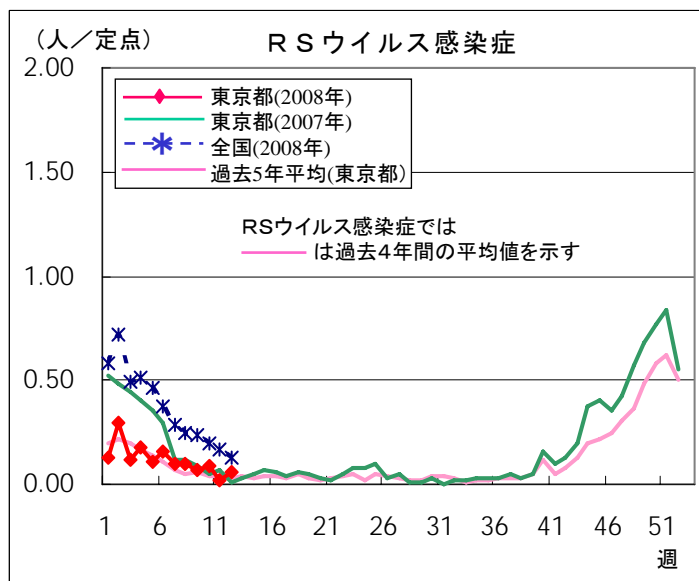
東京都	0.06	0.23	2.10	12.02	1.20	0.03	0.11	0.44	-	0.02
-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	---	------

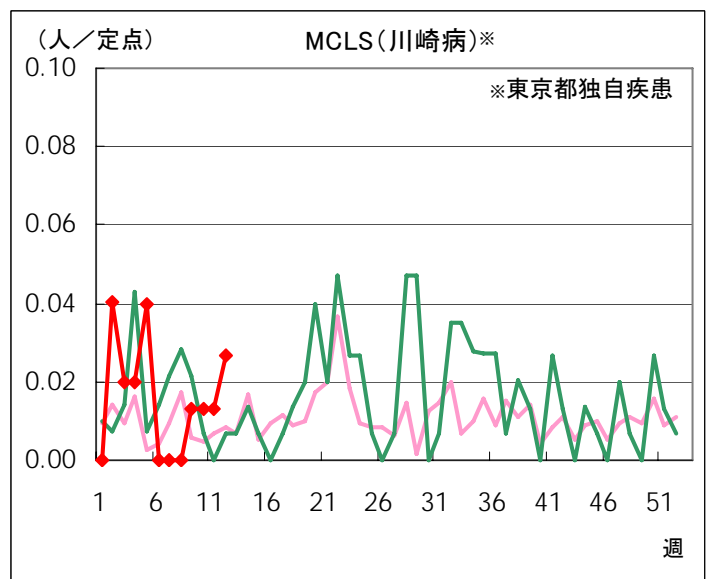
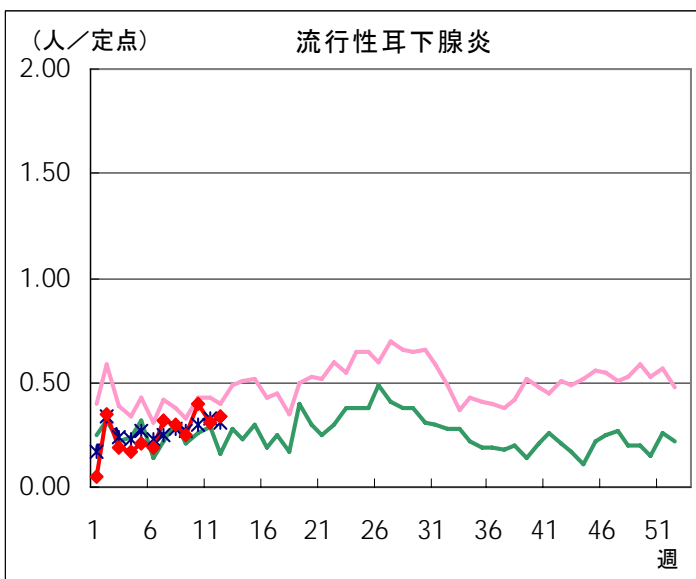
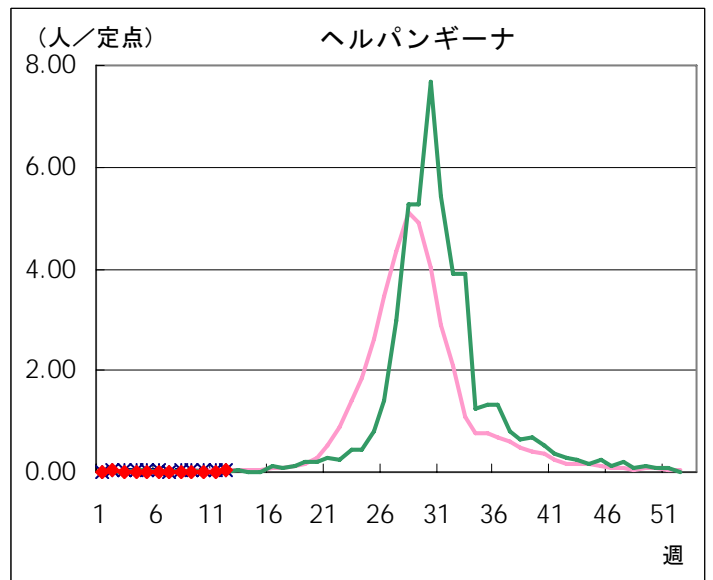
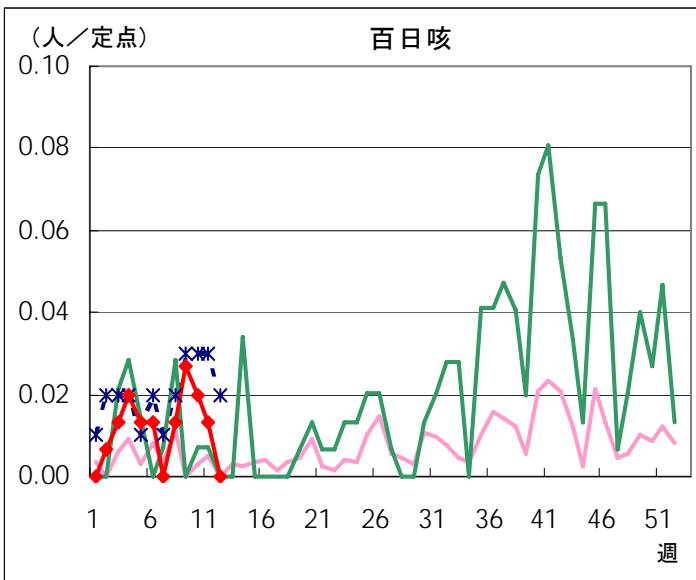
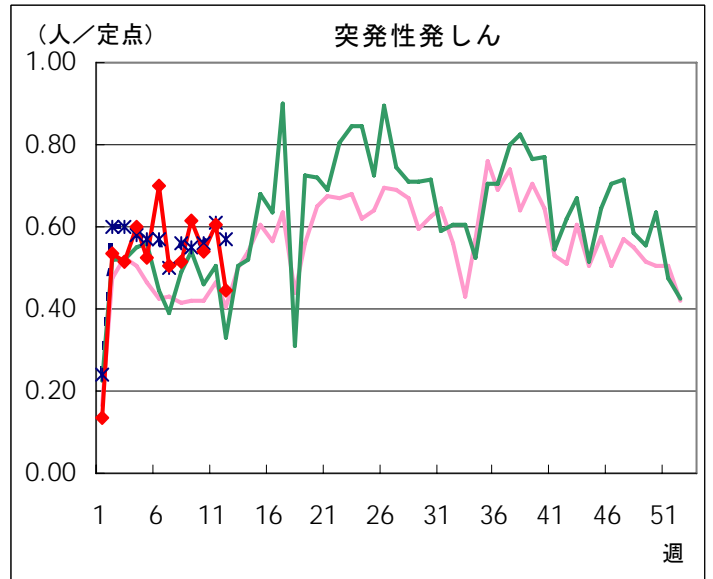
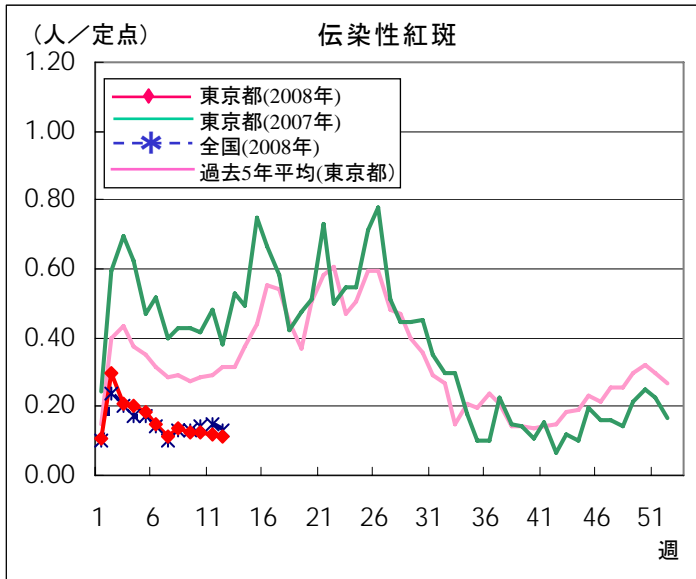
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	0.33		0.33	0.75		
みなと	0.17			0.50		
新宿区	0.17	0.17		0.78		0.50
文京	0.33			0.60		2.00
台東				0.60		
墨田区		0.67		1.50		
江東区	0.50			1.44		
品川区	0.17	0.17		1.30		
目黒区	0.33			1.17		
大田区	0.11	0.11		1.38		
世田谷	0.13			1.60		
渋谷区	0.25			0.83		
中野区	0.33			1.89		
杉並				0.58		
池袋	0.20			1.38		
北区	0.25			0.57		
荒川区	5.00			4.00		
板橋区				0.25		0.50
練馬区	1.00			3.17		
足立	1.60			0.75	0.50	1.50
葛飾区	0.25	0.25		1.33		
江戸川	0.80		0.20	2.67		
八王子市	0.50		0.25	0.70		
西多摩	0.20			1.89		
南多摩	0.50			1.89		
町田	0.25		0.25	3.11		
多摩立川				0.62		
多摩府中	0.10			1.67		0.33
多摩小平				1.36		1.00
島しょ				0.50		

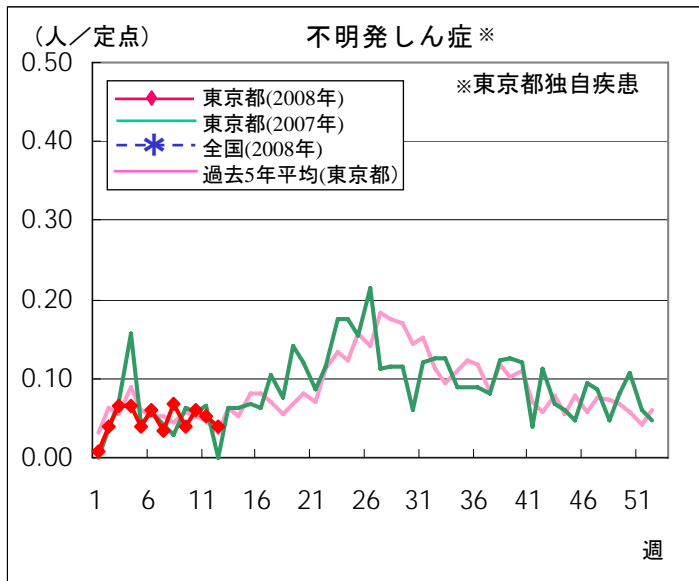
東京都	0.34	0.04	0.03	1.37	0.03	0.26
-----	------	------	------	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年12週現在

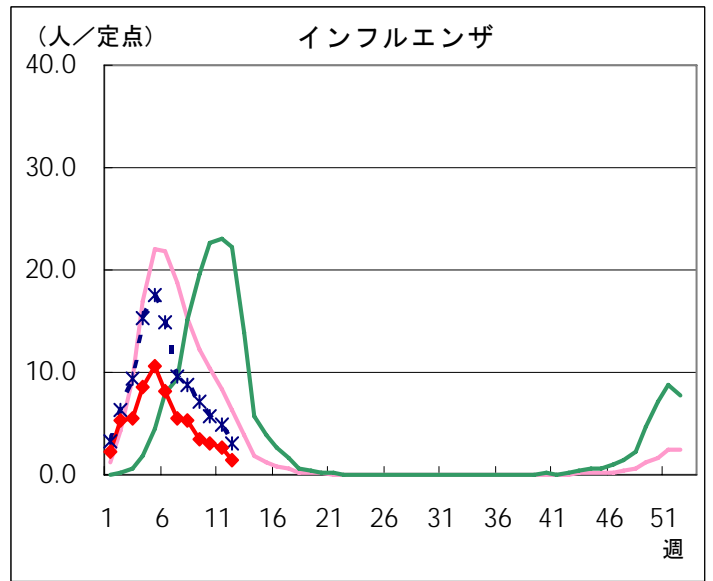
◆ 小児科定点



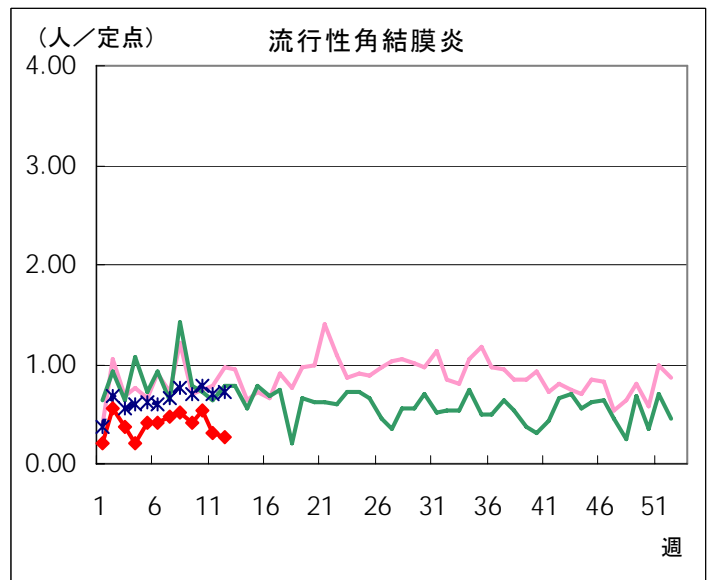
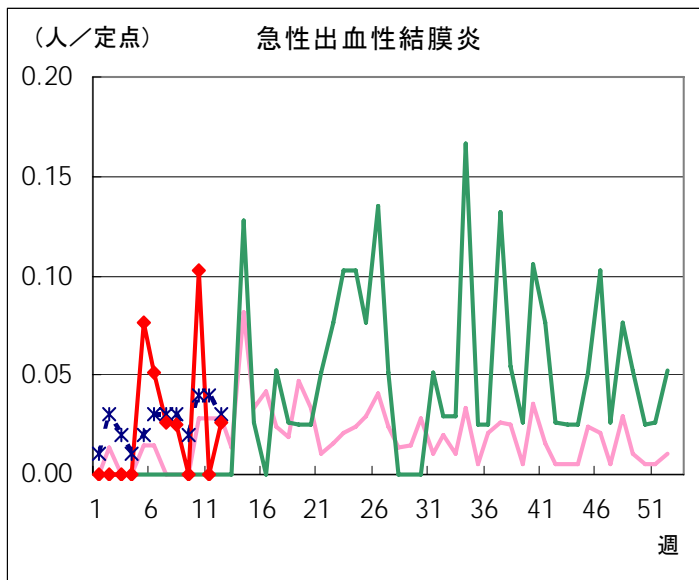




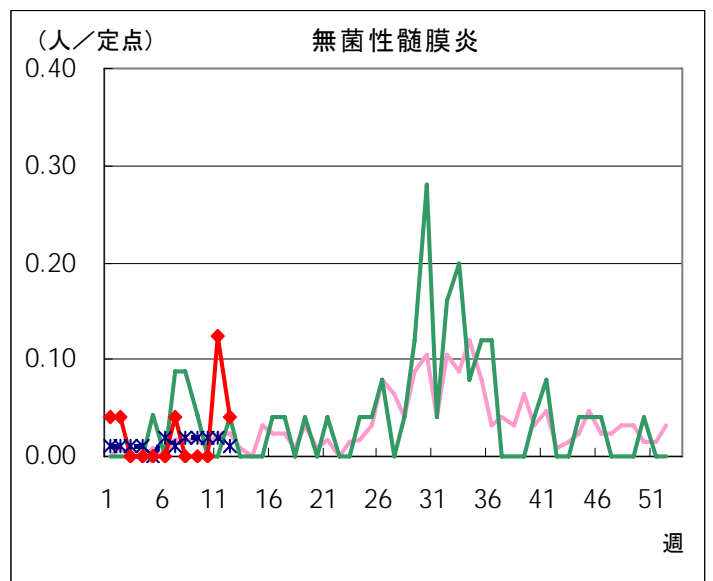
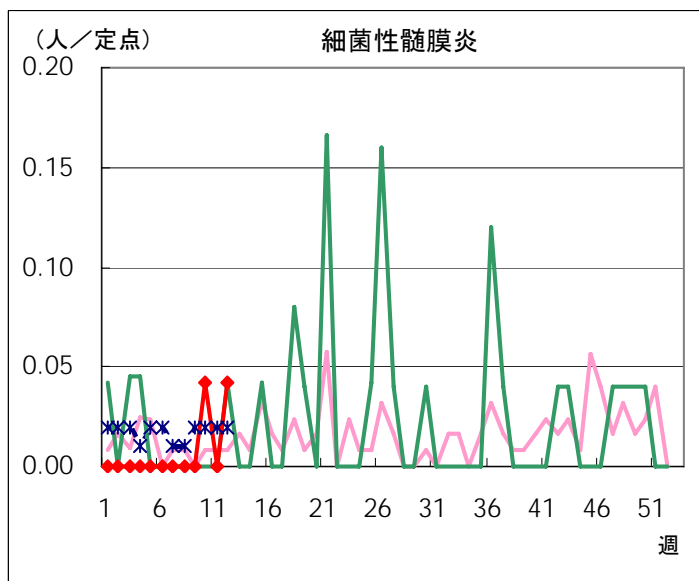
◆ インフルエンザ定点

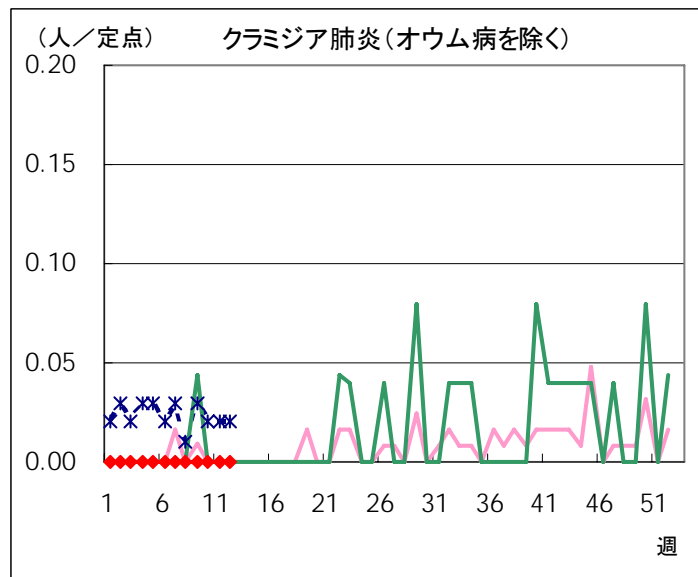
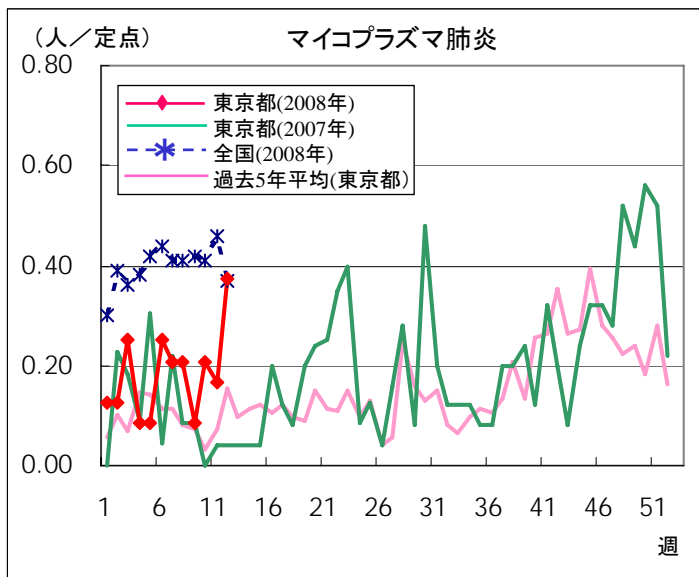


◆ 眼科定点

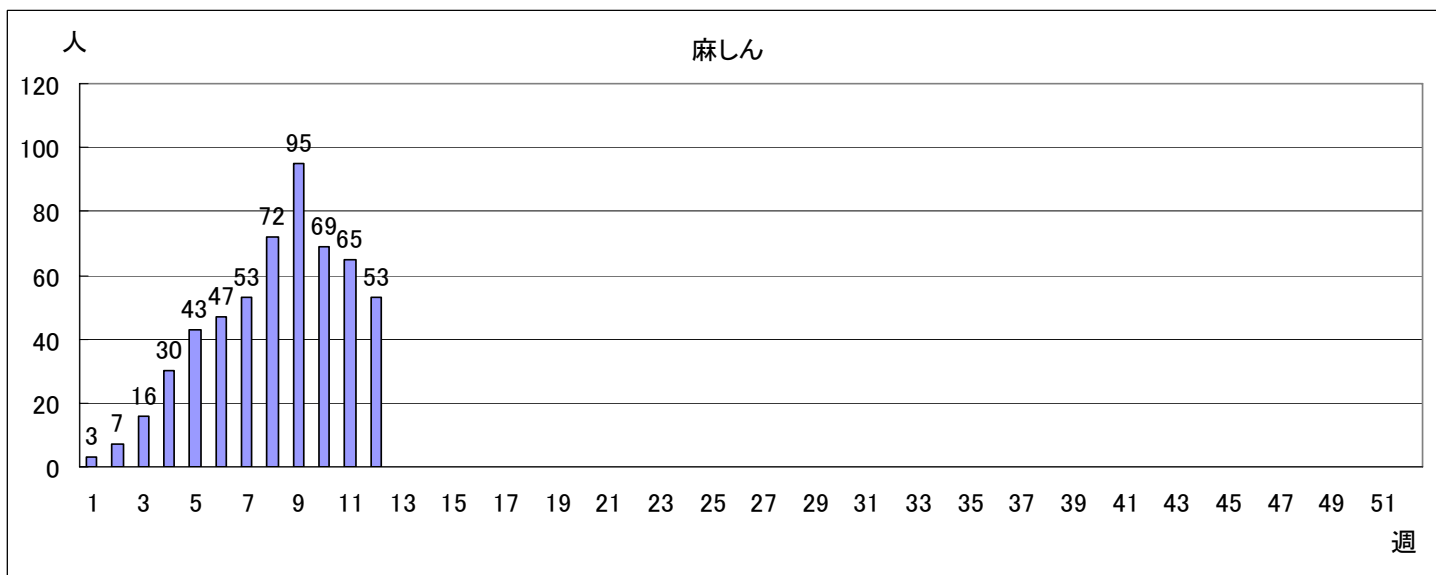


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年12週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	2		
新宿区	1	4	
墨田区	3		
品川区	1		
	6		
	1		
目黒区	1		
	2		
大田区		1	患者2名、B型は9歳女兒
	2		A型は15～19歳男性、B型は60歳代女性
	1	1	
	3		
世田谷	1		
中野区	1		患者は70歳代男性で11月にワクチン接種済みでした。
	3	1	
	4		
	1		
	1		
	2	2	
池袋	4		
	1		
北区	2		
練馬区	1	2	
足立	2		
西多摩	3	1	
多摩立川	2		
多摩府中	1	1	
		1	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
多摩小平	1	1	
	1	1	
	2	2	
	2		
	1	1	
八王子市	2		
	1	2	

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/5	感染性腸炎	4	糞便	ロタウイルス	抗原
3/5	インフルエンザ	17	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	遺伝子
3/7	インフルエンザ	43	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
3/8	扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/10	インフルエンザ	18	鼻汁	アデノウイルス	
3/10	急性咽頭炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型 メタニューモウイルス	
3/10	インフルエンザ	2	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
3/10	発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 ライノウイルス	
3/10	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
3/10	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	メタニューモウイルス アデノウイルス ライノウイルス	
3/10	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
3/10	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
3/11	頸部リンパ節炎	14	咽頭拭い液	EBウイルス	
3/11	急性咽頭炎	2	記載無し	アデノウイルス	
3/11	流行性耳下腺炎	1	咽頭拭い液	ムンプスウイルス EBウイルス	
3/11	尿路感染症	3M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
			髄液	ライノウイルス	
3/11	急性胃腸炎	9	直腸拭い液	ロタウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/11	インフルエンザ	32	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	遺伝子
3/11	インフルエンザ	25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
3/11	インフルエンザ	49	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
3/11	インフルエンザ	49	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
3/11	インフルエンザ	13	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
3/12	急性脳症	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	抗原
			糞便	ノロウイルス	
3/12	インフルエンザ	44	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	遺伝子
3/12	インフルエンザ	50	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
3/12	インフルエンザ	50	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
3/12	インフルエンザ	52	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	
3/13	耳下腺腫脹	8	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
3/13	肺炎	4	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
3/13	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
3/13	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	メタニューモウイルス アデノウイルス ライノウイルス サイトメガロウイルス	
3/13	ロタウイルス性腸炎	2	糞便	ロタウイルス	抗原
3/13	インフルエンザ	40	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	遺伝子
記載無し	ロタウイルス性腸炎	8M	糞便	アデノウイルス	抗原
				ロタウイルス	
記載無し	感染性胃腸炎 発しん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
記載無し	胃腸炎 けいれん		糞便	ロタウイルス	抗原

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		4	5	6	7	8	9	10	11
ウイルス	アデノウイルス	5	5	9	6	2	2	2	7
	ライノウイルス	2	2	2	7	2	1	4	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス		1	5	2	1	1		
	単純ヘルペスウイルス				2				
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7		1	4	4	2	1	1	3
	EBウイルス	1	2	2	1	1			2
	サイトメガロウイルス								1
	ムンプスウイルス	1		1	2	1			2
	麻疹ウイルス			1					
	風疹ウイルス				1				
	パルボウイルスB19			1	1		1		
	RSウイルス		3	1	1		1		
	ノロウイルス	3	2	4	2	2	2	1	1
	ロタウイルス	1	1	1	2	1	6	6	5
	インフルエンザウイルスAH1	10	18	19	5	9	4	7	6
	インフルエンザウイルスAH3	1	3	2	1		1	2	8
	インフルエンザウイルスB				5		2	3	1
デングウイルス									
その他のウイルス	1			1		4	2	6	
細菌	カンピロバクター			1					
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年4週～11週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	148	28	45	103	26	1		7		1	1	19	11		3		107	
ウイルス	アデノウイルス	4	10	4	7			2				3	1				7	
	ライノウイルス	2	4	3	1							3	2				11	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	1		5					1			1					1
	単純ヘルペスウイルス			1														1
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1		2							4						9
	EBウイルス												5					4
	サイトメガロウイルス		1															
	ムンプスウイルス													7				
	麻疹しんウイルス												1					
	風しんウイルス												1					
	パルボウイルスB19											1	2					
	RSウイルス	1		5														
	ノロウイルス				15													2
	ロタウイルス				23													
インフルエンザウイルスAH1	77		1															
インフルエンザウイルスAH3	17	1																
インフルエンザウイルスB	9		1														1	
デングウイルス																		
その他のウイルス		3	8	3														
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
その他の細菌																		
その他の病原体																		